

# ホンジュラスのガールガイドと日本のガールスカウト (JMS) の共同プロジェクト

背景 (バックグラウンド) :

ホンジュラスは中央アメリカの国で、北と東はカリブ海、南東はニカラグア、南はフォンセカ湾、エルサルバドル、西はグアテマラと国境を接し、18の県で構成されています。ホンジュラスの領土である島々を含むと、面積は112,492km<sup>2</sup>です。現在、統計局によると、ホンジュラスの人口は900万人を超えています (女性と男性あわせて9,357,701人)。他国同様、COVID 19の感染拡大の影響を受けており、コロナウイルスとして知られる感染が確認されてから9か月たちましたが、一般の人々の財源が危機に瀕しています。加えて、11月初旬にハリケーン“エータ”、11月中旬に“イオータ”の2つのハリケーンが襲来しました。このため、ホンジュラスの人々は、安全な場所であると考えられていた地域でも被害を受けています。

ガールガイドホンジュラス連盟は、非営利団体であり、責任ある市民として少女と若い女性の可能性の開発を支援することを使命としており、1953年に設立され、1972年以来、法人格を有して活動しています。この活動は、神に対するつとめをおこない、地域や国に根ざした価値観をもって行われています。責任ある市民を育てるべく、体験を通して学ぶガイディングを通して、主に対象である少女や女性が活動から多くのことを得るために、さまざまなプロジェクトを実施しています。

このプロジェクトの意義 :

ホンジュラスが現在直面している人道的危機によって影響を受けた人々が、人生の困難を乗り越えられるように注意を払う必要があります。したがって、彼らは彼ら自身の家で支援される必要があり、実際にさまざまな支援団体が被災者に、腐りにくい食品、調理済み食品、避難所を提供していますが、彼らの生活を続けるために、私たちは彼らが自分の家に戻るべきだと考えなければなりません。そこで、ホンジュラスガールガイド連盟は、ボランティアを通して、以下の支援を行いたいと考えています。 :

多くの家が完全に浸水したため、住民はその地域から避難しなければならないが、家が完全に浸水したために住民が屋根に上がらなければならない地域もありました。暴風が屋根を傷つけた地域もありましたので、家の屋根のいくつかを修理したいと思います。

被害を経て、多くの家は家を掃除し、再利用できる家庭用品や家財道具を洗うために飲料水を必要としています。しかし、飲料水パイプの損傷のため、アクセスするのに長い時間がかかります。問題を効果的に解決するために、被害を受けた家族には、水道管を通して水を入れた水タンクを提供します。

いくつかの家が完全に浸水したために、家財道具の多くが水流によって流されたり、掃除しても再利用できなくなったりするため、ゆっくりと休むことができるように、シーツとカバーのセットが付いたベーシックタイプのベッドと、食事の準備ができるように鍋を提供します。

現在のコロナウイルスの大流行を考慮して、ボランティアや受益者の健康を維持するため、すべてのスタッフに感染防止対策物品を届ける必要があると考えています。それによって連盟が安全に活動できるようになります。

また、被害を受けた人々が私たちボランティア（ガールガイド）に信頼をおいていなければなりません。そのためには、私たちボランティアが、ガイディングの手法にのっとり指導するビデオを作成し、最善の方法で活動を実行できるように、ガイド内でもトレーニングを充実させていく必要があると考えています。あわせて、影響を受けた子どもたちをサポートできるよう、ユニフォームの提供や教育資料も必要になるでしょう。彼らが経験している困難な状況を少しでも緩和することができたらと思っています。

最後に、ホンジュラス連盟では、国の電気供給が不安定性なため、停電が頻繁に起こります。そのため、レポート配信のための、現在のオフィス機器が最適な状態ではなく、オフィス機器を購入したいと思います。





被災した地域の写真